



横浜開港150周年記念事業 開国開港Y150「絹の道都市間交流連携会」の設立について ～1都5県に及ぶ連携～

我が国の近代化と横浜港繁栄に重要な役割を果たした「絹」及び「絹の道」に係る自治体が共同して、Y150イベントの中で、地域の物産展や郷土芸能・歴史展示等を実施し、都市間の連携を深め、今後の各自治体の発展の契機とします。

今回のように、「絹の道」をテーマとし、県域を越えて、自治体が広域的に連携をすることは我が国の過去にない事例であります。

このたび、次により、設立総会を開催し連携の取り組みをスタートさせますので、取材につきよろしくお願いいたします。

◆ 開催概要

開催日時 2008年10月22日(水)14時00分～15時30分

会場 みなとみらい21 プレゼンテーション・ルーム
(みなとみらい21 クイーンズスクエアC棟3F)

趣旨 横浜港は、安政6(1859)年に開港しました。開港後、幕末から明治にかけて、日本の主要な輸出品であった絹は、ほぼ全量が横浜港から輸出されていきました。「絹」を通じて、横浜はもとより生産地や製造地、交易路(絹の道)沿線地は現在の都市としての礎が築かれ、また、開国後の日本の発展に大きな役割を果たしております。

このたび横浜開港150周年を契機とし、「絹の道」に係る自治体が集まり、Y150イベントの中で、物産・歴史展示等を実施します。この共同でのイベント実施を通じて、都市間連携が萌芽し、今後の各自治体の相互発展に繋がることを期待できます。

具体的な事業

- (1) Y150イベントでの物産・郷土芸能等への参加
- (2) Y150イベントでの絹等にかかわる展示
- (3) 近隣各地域の小中学生による教育の一環としての参加
- (4) 絹等にかかわる史実の新聞掲載とその成果物としての資料の制作
- (5) 道標等の歴史的資産の保存活動
- (6) 2010年以降の都市間の交流・連携の検討

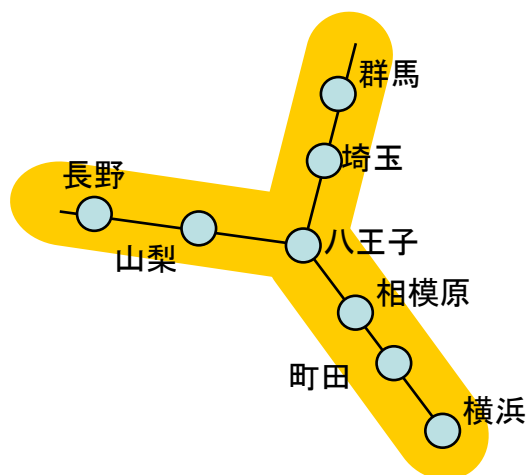
参加団体（予定）

- ・群馬県、前橋市、桐生市、伊勢崎市、沼田市、富岡市、安中市、
下仁田町、甘楽町、六合村 （群馬県＝10団体）
 - ・埼玉県、本庄市、秩父市、入間市、熊谷市 （埼玉県＝5団体）
 - ・長野県、上田市、岡谷市、須坂市、駒ヶ根市、辰野町 （長野県＝6団体）
 - ・山梨県、富士吉田市、都留市、山梨市、甲州市 （山梨県＝5団体）
 - ・東京都八王子市、東京都町田市 （東京都＝2団体）
 - ・神奈川県相模原市
 - ・神奈川県横浜市、中区、保土ヶ谷区、旭区、緑区、泉区、瀬谷区 （神奈川県＝8団体）
- ・財団法人横浜開港150周年協会
（以上4県、22市、3町、1村、6区、1団体＝37団体）

その他

取材については当日、会場受付にお申し出下さい。

「絹の道都市間交流連携会」の範囲



発信元・問い合わせ先
財団法人横浜開港150周年協会
事業営業統括部長 中村 和久
電話：045-222-1545

プレゼンテーションルーム 案内図

<交通のご案内>

電車: →JR京浜東北線(根岸・横浜線)、市営地下鉄線桜木町駅より徒歩10分、

→みなとみらい線 みなとみらい駅より徒歩3分。

バス(平常時): 桜木町駅バス乗り場1番より145系統赤レンガ倉庫行約10分 クイーンズスクエア前下車徒歩1分

車(平常時): 首都高速道路横羽線みなとみらいランプより約2分。

